

渡辺日香里さん（自然科学研究科・博士後期課程 3 年）が日本分析化学会関東支部 第 33 回新潟地区部会研究発表会でポスター奨励賞を受賞しました。

日本分析化学会関東支部新潟地区部会が主催する第 33 回新潟地区部会研究発表会において、大学院自然科学研究科・数理物質科学専攻化学コース・博士後期課程 3 年の渡辺日香里さんがポスター奨励賞を受賞しました。

リチウム－硫黄電池は次世代電池として期待されていますが、放電時に正極活物質の中間体であるポリスルフィドが電解液へ溶出することが問題とされています。ポリスルフィド不溶性の電解液としてスルホラン系濃厚電解質溶液が提案されていますが、放電反応については明らかにされていません。本研究ではオペランドインピーダンス測定により、放電時の大きな過電圧の要因を明らかにしました。

受賞者：渡辺 日香里（新潟大学大学院自然科学研究科・博士後期課程 3 年）  
（指導教員：梅林 泰宏教授）

表題名：オペランドインピーダンス測定による正極不溶型リチウム－硫黄電池の電極/電解液界面反応に関する研究

